

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福玉便り

9月&10月号

通巻第110号

2024年9月1日発行

ふく たま だより

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館1F TEL0120-60-7722



能登半島訪問

7月10日から12日にかけて、元日の地震から約半年が経つ能登半島に、双葉町から加須市に避難をしている鶴沼久江さんと一緒に訪ねました。半年が経つてもなお、避難道路でもある「のと里山海道」は片側が崩落し、車が置き去りに。道路の9割が復旧したということですが、土砂崩れや岩の撤去が進んでいない場所もたくさんありました。また、地震の影響の大きかった地域は、崖が崩れ、家が潰れたままになっていました。

液状化が発生した内灘町では、電柱が斜めに立ち、道

は、つらいね...と、ぼつりとつぶやいていました。きくと、鶴沼さんも、同じ思いを13年以上してきたはず。その静かなつぶやきが、心に残りました。

珠洲市にある松田牧場で、松田さんと松田さんは、牛舎に向かい、牛をなでたり

は、今なお、水が絶たれたまま、牛の命を守り続けていました。1日6トンの水を自分たちで3時間かけて運搬しているそうです。また、4棟あるうちの2棟の牛舎が壊れてしま

い。鶴沼さんが埼玉で作り、



が壊れてしま、松田牧場の松田徹郎さんのご自宅も、全壊してしまつたため、敷地内にあるコンテナで暮らしています。山の向こうにある別の牧場も遠くに見えましたが、地震後はどうすることもできないまま、牛たちが亡くなっていったそうです。「たしか、1匹くらい、逃げた」と、松田さんが話してくれました。鶴沼さんも、双葉町で牛飼いと暮らしていました。松田牧場に到着すると、鶴沼さんと松田さんは、牛舎に向かい、牛をなでたり



代表 安齋 作子
〒343 埼玉県越谷市東越谷6-10-7
-0023 携帯 090-4453-2034

各地の交流会など

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりました。昨年5月には感染法上の分類が「5類」に引き下げとなりましたが、各交流会の感染対策については連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、引き続き体温測定の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

① 加須市	双葉町民によるボランティアカフェ	090-5356-8778 (鶴沼さん)
③ 加須市	双葉町手芸教室	080-5532-7380 (薄井さん)
⑤ 加須市	すくすくのおそびひろば	090-2411-8598 (戸恒さん)
⑥ 加須市	オバトン	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧ 上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215 (橘さん)
⑩ 熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236(林崎さん)
⑬ 越谷市	あゆみの会	090-9425-2001 (石上さん)
⑱ 川口市	ひまわりの会	080-5431-0123 (島田さん)
⑲ さいたま市	さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
⑳ 新座市	新座つながりカフェ	090-2402-9155 (谷森さん)
㉑ ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408 (松館さん)
㉒ 川越市	ここカフェ@川越	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉓ さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948 (小林さん) https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

㉔【ここカフェ@川越】
9、10月ともに皆様の都合をお聞きして交流会を開催します。場所はJUNホール、10:00~15:00 pororon311@gmail.com、070-5080-4494 (鈴木さん)

⑲【さいがい・つながりカフェ】
9/12(木)、9/26(木)、10/10(木)、10/24(木)11:00~15:00 WithYouさいたま和室 080-5532-7380、tunagari.saitama@gmail.com

③【双葉町手芸教室】
9/18(水)、10/16(水) 10:00~12:00 双葉町社会福祉協議会加須事務所 080-5532-7380 (薄井さん)

⑥【オバトン】
9/10(火)、9/26(木)、10/8(火)、10/24(木)10:00~15:00 キャスルきさい2階調理室 (ぬり絵教室は2階研修室で11:00~13:00、ハーモニカ演奏・合唱は木曜のみ1階多目的ホールで10:00~12:00) 090-6526-8560 (藤井さん)

㉓【玉兎の会】予約は要りません！
お気軽にご参加ください。9/15(日)、10/26(土)10:30~12:00 With Youさいたま4F セミナー室4 (9月)、セミナー室1 (10月) 4048-854-8703 (小林さん) https://gyokutonokai.wixsite.com/2018



ラジオ下神白

映画『ラジオ下神白—あのとき あのまちの音楽からいまここへ』
上映会 +アサダワタルさん (企画・出演) アフタートーク
日時: 11月17日 (日) 14時~ (開場13時半) ※時間は調整中
会場: 埼玉県男女共同参画推進センター (WithYouさいたま) 視聴覚セミナー室 入場料: 無料 ※詳細は次号でお知らせします

福島県浜通り 地域交流会復興視察ツアー

福島県浜通り地域の いま を見学・体験しませんか?

第1回ツアー実施日 9月26日(木)~27日(金)

- 日程 □1日目 12:30 郡山駅 出発→ 双葉駅 周辺見学→ 浅野燃糸(絨) フタバスーパーゼロミル見学→ 大熊町拠点見学 (おおくまーと等) 18:00 Jヴィレッジ到着(宿泊) □2日目 8:30 Jヴィレッジ 視察・講話プログラム→ ワンダーファーム (見学)→ 道の駅よつくら港(自由昼食)→ 14:50 郡山駅到着・解散
- 申込期間 2024年8月5日(月)~9月5日(木)
- 定員 30名 無料 (30名を超える場合には先着順になります。最小催行人員2名) (交通費等(バス代、宿泊代、傷害旅行保険料、郡山駅までの往復交通費)を含む。)
- 対象: 東日本大震災および原子力災害を契機に福島県内から他の都道府県に避難を継続している方
- 詳細 URL: https://va.apollon.nta.co.jp/hamadori_tour/
- 問い合わせ: ツアー予約について 024-522-6161 (株式会社日本旅行東北福島支店) ◇ツアー参加対象に関して 024-573-2732 (ふくしま連携復興センター 拠点連携班)
- 【主催】福島県企画調整部 避難地域復興局 避難者支援課
- 【企画実施】(一社)ふくしま連携復興センター



車いっばいにコンテナ6つ分も積んだ、たくさんの野菜(ナス、きゅうり、ゴーヤ、おくら)を珠洲市の被害の大きかった地域で配りました。「いろは書店」を拠点に、近くの仮設住宅から避難している人たちがたくさん集まりましたが、その時に、支援物資はあっても野菜はなかなか手に入らないこと、ようやく再建した商店も早く閉まってしまったこと、畑ができてなくなってしまったことなどをお話してくれました。断水の影響もあるのではありませんか、田畑ができません。田畑がなくなったのは、無言電話はもちろん、全国各地あるいは海外からの消印が届く郵便物も届き、中にはカミソリが入っていたこともあり、「話をしてあげたい」と話してくれました。2地域(寺家・高屋)だけの問題にせず、珠洲市全体の問題にしたかった。野菜を届けることも、地域の推進派の人たちをけなすことはしてはいけません、と野さんは言います。地域の



この地域には、2つの地域(寺家・高屋)で原発が建つ予定がありました。計画は2003年に凍結しましたが、40年以上も前から、この地域の人々は、原発誘致に翻弄されてきました。反対派・賛成派で地域が分断され、一時期は祭りもできなくなっていました。誘致に反対し続けてきた北野進さん(珠洲市)は、「推進派からの嫌がらせは、無言電話はもちろん、全国各地あるいは海外からの消印が届く郵便物も届き、中にはカミソリが入っていたこともありました」と話してくれました。2地域(寺家・高屋)だけの問題にせず、珠洲市全体の問題にしたかった。野菜を届けることも、地域の推進派の人たちをけなすことはしてはいけません、と野さんは言います。地域の

人で監視小屋を作り、中部電力・関西電力の動きを、雪の日も雨の日も、交代で見張っていたそうです。また、共有地(複数の人の名義にする)を30〜50ヶ所点在させ、土地買収にも抗いました。最後に、志賀原発にも行きました。「脱原発」と書かれた小屋も原発敷地の真横にあります。私が以前、この志賀原発の近くを取材(カメラ撮影)していたときには、警備の車がぴたりと横につき、敷地内からは力マボコ車(警察車両)が双眼鏡で覗いていました。悪いことをしに来たのだと、勘違いされたのか、あるいは威嚇なのかは分からないのですが、本来、市井の人々に対して情報をオープンにするべき原発のあり方としては、疑問を感じずにはいられません。野さんは、また能登半島に野菜を持っていきたい、と話してくれました。地

大阪市営住宅から原発事故避難者を追い出さず、命と人権を守るために公正な判決を求める署名にご協力ください。

2011年、東日本大震災と原発事故により、関東地方から大阪市に避難された新鍋さゆりさん(仮名)。末期のがんで余命宣告を受けています。そんな状況の新鍋さんは、大阪市から訴えられ、住居から追い出されようとしています。

東日本大震災と原発事故により、関東地方から大阪市に避難した新鍋さんは、2018年(平成30年)7月、大阪市から住宅支援打ち切りに伴い建物明渡しと損害金(現在約1700万円)を請求されています。これを請求する裁判を提起されました。これを受けて、新鍋さんも大阪市に対し、住宅支援打ち切りとなっている住宅を退去しないことを理由として生活保護を打ち切られそうになったこと等に関して、慰謝料請求を求める訴訟を同年12月に提起しました。大阪市の人権意識と、原発事故への考え方が問われています。大阪地裁が、命を守る公正な判決をくだすよう、ぜひ、

QRコードから署名での応援をお願いいたします。

(編集部・吉田)



原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害賠償に関する無料相談会&請求書作成支援のご案内

- 開催日 **9月8日(日)**
10:00~16:00 (休憩 12:00~13:00)
午前10時~午後4時【休憩:午前12時~午後1時】
- 『すみだ産業会館』 会議室4(錦糸町マルイ9F)
住所:東京都墨田区江東橋3-9-10 丸井共同開発ビル
□ JR総武線『錦糸町駅』南口駅前
★会場へは、建物左脇のシースルーエレベーターをご利用ください。
※専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 開催日 **9月28日(土)**
10:00~16:00 (休憩 12:00~13:00)
午前10時~午後4時【休憩:午前12時~午後1時】
- 『ソニックシティ』 7階 706会議室
住所:埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
★JR、東武野田線『大宮駅』西口より歩行者デッキにて直結。徒歩3分 会議室は、『ソニックシティビル』内にあります。
※有料専用駐車場はございますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

- 弁護士による個別相談 10:00~16:00
【こんなご相談を専門家がアドバイスします!】
・相続人全員と連絡が取れない場合、賠償金は受け取れないのですか?
・精神的損害の増額事由についてよく分からない。
・追加賠償の請求書に添付する必要書類が分からない。
中間指針第五次追補等に係る追加賠償の請求がお済みでない方は、ぜひご相談ください。
自主的避難等対象区域の方々も対象となります。
□個別相談・請求書作成支援は、必ず事前予約をお願いいたします。
- 弁護士による個別相談
□原子力損害賠償全般のご相談に対応いたします。
□原則として、1組1時間までご相談いただけます。
- 行政書士による請求書作成支援
□追加賠償の請求書をお持ちください。
□追加賠償の請求書のみ作成を支援いたします。
□請求書へはご自身で記入をお願いしております。
- 専門家へご相談ください。
・請求漏れがないか相談したい
・住居確保にかかる費用の賠償請求について相談したい
・ADRの申立てについて相談したい など
- 連絡先
□事前予約はこちらから
予約専用ダイヤル 0120-330-540
【受付時間】9:30~17:00 月~土(祝日を除く)
□ご来場が難しい場合は、電話相談をぜひご利用ください! 電話相談ダイヤル 0120-013-814
【対応時間】10:00~13:00、14:00~17:00 月~土(祝日を除く)
・行政書士による電話での情報提供(事前予約不要)
・弁護士による電話での相談は、祝日を除く毎週火・木10:00~13:00(事前予約制)
・オンラインでのご相談も可能

大熊町・双葉町の借上住宅の打ち切り

先月7月25日、大熊町と双葉町の応急仮設住宅について、福島県は、再来年(2026年)の3月末で無償提供を終了すると発表しました。東日本大震災・原発事故で避難をしている方々への最後の応急仮設住宅の打ち切りです。

避難を続けている大熊町と双葉町の応急仮設住宅の両町民は、福島県内外で、借り上げ住宅を含む593戸に966人が住んでいるということです。(2024年4月1日現在)。埼玉県に問い合わせると、「大熊町」「双葉町」という町単位での把握はしていないのですが、現時点において、福島県に求償している(借上住宅に係る費用を福島県に埼玉県が請求する仕組み)世帯数は、41戸、72人にのぼることです。(2024年6月現在)。

埼玉県の担当課に対しての福島県による説明会は、8月に行われるとのこと、その後、埼玉県でも対象の方々への対応が検討されるということです。

避難先で誰一人路頭に迷うことがないように、必要な支援が届くことを望みます。ご心配・ご相談のある方は、埼玉広域避難者支援センター(0120・60・7722)にお電話ください。

(編集部・吉田)